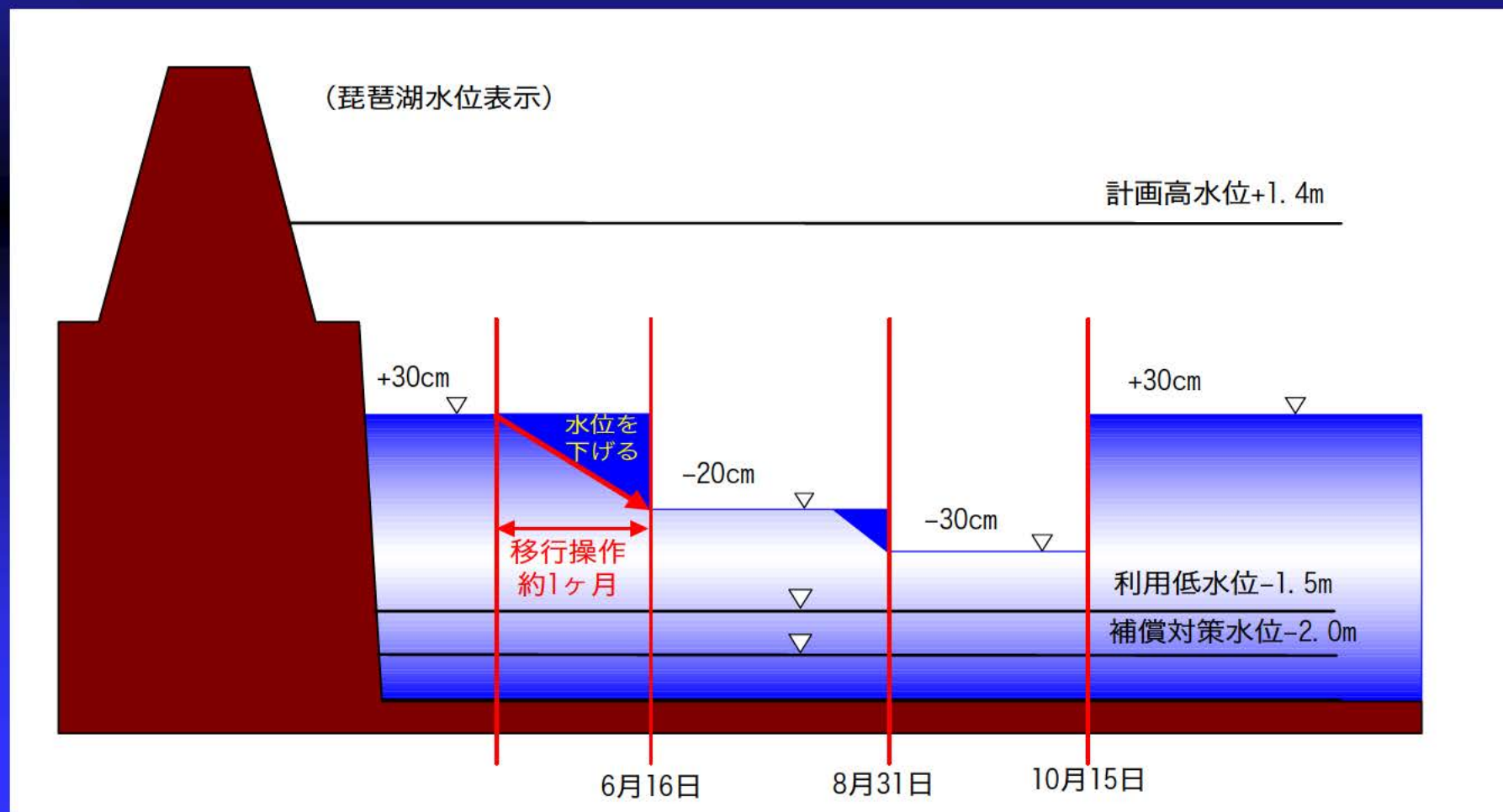


## 2. 瀬田川洗堰の操作

### 2.3 琵琶湖の水位管理

#### 2.3.1 管理水位

##### ◆ 琵琶湖総合開発事業での管理水位



## 2. 瀬田川洗堰の操作

### 2.3 琵琶湖の水位管理

#### 2.3.1 管理水位

##### ◆ 管理水位の説明

計画高水位	100年に一度起こるような大きな洪水をもとに設定した水位
常時満水位	通常貯水できる最高の水位
洪水期制限水位	梅雨や台風期に琵琶湖周辺の被害を防ぐためにあらかじめ下げておく水位
利用低水位	水を利用する上での最低水位
補償対策水位	補償対策を行う水位

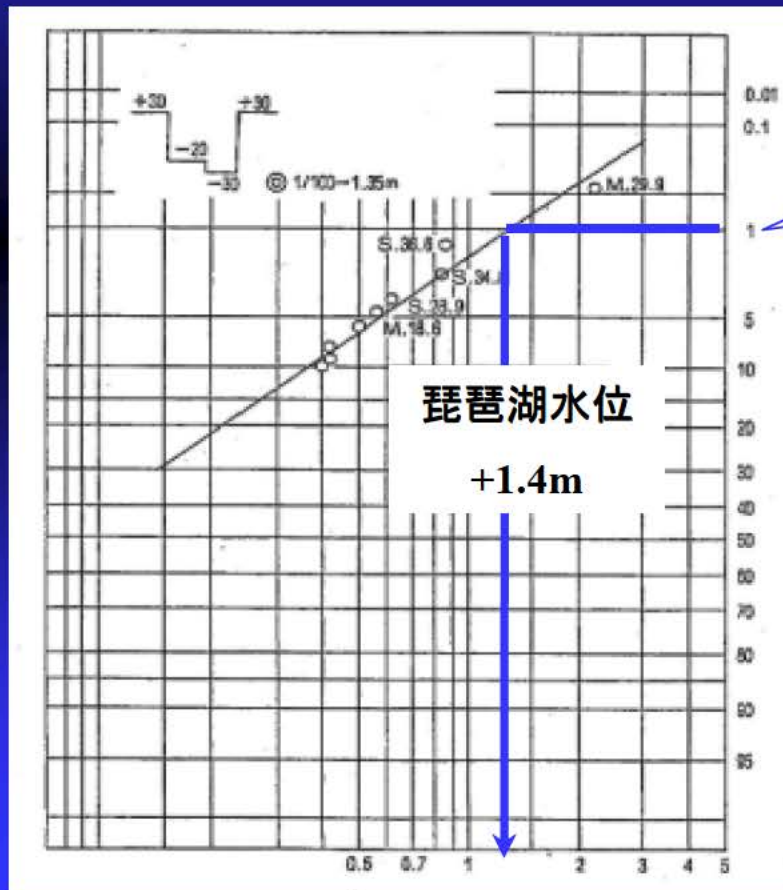


## 2. 瀬田川洗堰の操作

### 2.3 琵琶湖の水位管理

#### 2.3.2 計画高水位

##### ◆ 計画高水位+1.4mとは



明治7年～昭和43年までに起きた洪水時流入量から水位上昇量を計算した結果を統計処理し、100年間に1回超過すると予想される琵琶湖の最高到達水位を計画高水位として定義しました。

100年に1回の確率

#### 【条件】

※ここでの計算は、以下の条件を基に琵琶湖の洪水調節を想定してます。

- ・瀬田川洗堰は琵琶湖最大流入量をはさむ24時間全閉という条件です。
- ・瀬田川の流量は、+0mのときに毎秒800m<sup>3</sup>です。
- ・大戸川からの流出量として毎秒300m<sup>3</sup>を考慮した条件です。

## 2. 瀬田川洗堰の操作

### 2.3 琵琶湖の水位管理

#### 2.3.4 利水計画上利用できる水位

##### ◆ 利用低水位-1.5mの経緯

##### ■ -1.5mとは...

異常な渇水時を除いて、琵琶湖から下流への必要な水量(40m<sup>3</sup>/s)を確保するための放流操作を行う場合、通常この範囲に収まると判断される低水位である。

##### ■ 利用低水位-1.5mと 補償対策水位-2.0mの 関係

滋賀県と調整の結果、-1.5mを利用低水位と位置付け、-1.5mを下回る非常渇水時における操作は、琵琶湖周辺およびその周辺地域に被害がないようにするために、補償対策水位-2.0mを設定した。



## 2. 瀬田川洗堰の操作

### 2.3 琵琶湖の水位管理

#### 2.3.4 利水計画上利用できる水位

常時満水位は、

- ・治水上の無害水位相当
- ・利水上、渇水時に利用最低水位を下回らない水位の2点から、0.3mと定められています。

